

私は身長152センチの映像作家です

PROFILE

いまむら あやこ
今村 彩子

映像作家
Studio AYA 代表
名古屋出身・B型・朝型人間

体を動かすことが好きで、週に2〜3回、大高緑地公園で4キロ走っている。小学生の時は3度の食事よりも本が大好きで、今も外出する時は必ず本を持っていく。

ツイッターやブログで日々のことをつづっています。
<http://studioaya.com/>

ご意見ご感想をお待ちしております。
ボラみより情報局まで。

皆さん、初めまして。今村彩子です。縁があって今月から1年間、エッセイを執筆させていただくことになりました。どんなことを伝えようかなどワクワクしています。まずは自己紹介を。私は桜満開の季節に生まれた未年の牡羊座でダブル羊です。でも、羊に似ていなく、体型は色黒で細い方です。和田アキ子とも同じ誕生日ですが、私の身長は152センチと小柄です。しかし、私は写真では背が高く見えるらしく、初めて会う人によく「ちっちゃ!」と驚かれます。

私は生まれつき耳が聞こえません。両耳に補聴器をはめていますが、外すと全く聞こえません。周囲がうるさい時は、補聴器を切って音のない世界へワープしています。

19歳の時、1年間アメリカへ留学し、映画制作を学びました。帰国後、愛知教育大学に復学し、ドキュメンタリーを撮り始めました。取材で大学を自主休講することが増え、先生から「あなたの本業は撮影ではなく、大学で学ぶことでしょ!」と怒られたことは、今は懐かしい思い出です。大学4年の時、就職活動でテレビ局をいくつか受けましたが、全滅。だったら、自分で作っちゃえ!と「Studio AYA」を設立。ドキュメンタリーを制作し、全国各地で上映・講演をしています。多くの方に支えられ、今年で無事に13年目を迎えます。

ろう・難聴者の存在を一人でも多くの人に知ってほしいという思いで、ろう学校や家族全員がろう者の家庭、聞こえない人と聞こえる人



が働く職場などを撮りました。ろうのサーフィン店長を起用して制作したCMは日本民放連盟賞優秀賞、ギャラクシー賞をいただきました。東日本大震災が起きた時は、11日後に宮城に行き、被災した聞こえない人を取材しました。その後も取材を続け、DVD「手話で語る3.11」を制作し、被災ろう者の声や課題を伝えています。去年こなしした講演は80回以上。今年も毎月平均4〜5回ほど講演があり、全国を飛び回っています。震災前から撮り続けていた、ろうのサーフィン店長が主人公の映画「珈琲とエンピツ」は豊橋、東京、大阪、神戸の劇場で上映されました。このエッセイを書いている現在は、私の地元、名古屋の伏見ミリオン座で公開中です。

最近、講演先で「いろいろ活動してすごいね」「小さくて細い体なのにどこからそんなエネルギーが出てくるの?」と、「私には真似できないわ〜」というニュアンスで言われることが多くなりました。そういう質問や反応に私はいつも返答に困り、うーんと悩んでしまいます。私も皆と同じ人間で普通の生活をしているので、そして、最後にはお決まりの答え、「それはやはり好きだから」としか言えませんでした。

ある時、「なぜ私はドキュメンタリー制作を続けられるのだろうか。とても地道で苦しい作業でもあるのに…」と今までの軌跡を振り返ってみました。すると、夢を実現させ、継続する方法として5つのことをしていることに気づきました。エッセイで5つのことを織り交ぜながら、生い立ちや私が取材で出会った人々のことについてお話ししたいと思っています。1年間よろしくお願ひいたします。



映画「珈琲とエンピツ」

手話で語る3.11
宮城 被災ろう者の体験談